

平成28年度 星が丘中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- ① 健康で気力のある生徒を育成する。
- ② 学力豊かで創造力のある生徒を育成する。
- ③ 勤労を尊び責任感のある生徒を育成する。
- ④ 国際感覚に秀で思いやりのある生徒を育成する。

【目指す生徒像】

- | | |
|-----------------|------------------|
| ① 気力あふれるたくましい生徒 | ② 自ら学び考える生徒 |
| ③ 進んで仕事をする生徒 | ④ 豊かな心と思いやりのある生徒 |

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校の自主的・自律的な経営の下、21世紀の知識基盤社会を生きる人間を育てるに当たって、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育むことを重視し、未来を切り拓く力を育てる教育を実践する。

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

平成26、27年度での50人近い大量の人事異動により、組織としての揺らぎのないように、平成26年度は「継承と構築」、平成27年度は「意欲と精選のバランス」を経営方針のスローガンとして取り組んできた。学校評価は概ね良好な結果を得られたが、多くの課題も確認できた。課題解消を図りながら、新たな星が丘中学校として地域や保護者から信頼される、より良い学校経営に努めたい。

- (1) 確かな学力の定着・・・授業時数の確保と学習指導要領に基づく授業の展開と工夫、個に応じた指導の中で、基礎的・基本的な知識・技能等の育成や思考力・判断力・表現力等の育成、さらには指導と評価の一体化を推進し、確かな学力の定着を図り、「わかる授業」の推進に努める。
- (2) 心の教育の推進・・・読書活動、あいさつ運動、心に響く道徳教育、国際理解教育、福祉教育等の充実を図り、教育活動全体をとおして、思いやりにあふれた心の教育を推進する。
- (3) 生徒指導の充実・・・一人一人の家庭的な背景をふまえながら、生徒とのコミュニケーションを重視し、信頼関係の構築に努める。生徒の自律を促すための「育てる生徒指導」（自己指導力・自己肯定感の育成）の推進を図る。様々な問題に対して家庭や他機関との連携を図りながら組織的に取り組み、解決・解消に努める。
- (4) 健康・体力の向上・・・食育の充実と健康的な生活を送るための指導の充実を図る。新体力テストの結果を活用し、進んで運動に取り組む態度の育成と体力の向上を図る。
- (5) 特別支援教育と教育相談の充実・・・生徒一人一人のニーズに対応した支援活動の充実が図れるよう、校内特別支援委員会を中心に組織的に取り組む。不登校の防止や解消、生徒一人一人の悩みの解消を図り、明るい学校生活を実現するために教育相談の充実を図る。
- (6) 家庭・地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進・・・地域の教育力を生かし、家庭・地域社会との連携と開かれた学校づくりに努めるとともに、地域に信頼される学校づくりを推進する。
- (7) 教職員の使命感の発揮と資質の向上・・・時代や生徒・保護者のニーズに応えるため、教職員としての使命感に徹し、協働体制のもとに各自の特性の発揮と資質の向上に努める。

【星が丘地域学校園教育ビジョン】 「未来を切り拓く豊かな社会性の育成」

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

・自らの課題を組織的に解決できる自主的、自律的な学校経営 ～生徒と向き合う時間の確保のための工夫・改善～

【学 習 指 導】

○意欲的に学習に取り組む生徒の育成

【生 徒 指 導】

○家庭・地域と学校が連携し、生徒一人一人の豊かな心の育成

・生徒の良さを見つけ、褒めることを通して、自己肯定感や誇りを持てる生徒の育成

【健康（保険安全・食育）・体力】

○生徒が自己の健康・体力を的確に理解し、進んで健康・体力の向上に励む生徒の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】肯定的回答80%	生徒会活動の充実を図り、特に学校行事等では、生徒の自発的・自治的活動を積極的に取り入れ、成就感を味わわせる。	B	【達成状況】教職員・保護者・地域住民で90%を超え、生徒も昨年度から微増の84%と高評価であった。年度初めの国際交流プロジェクトでよいスタートが切れた。 【次年度の方針】生徒会活動や学校行事を軸に、明るく活気に満ちた雰囲気作りに努める。
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】肯定的回答80%	学年、教科、校務分掌等職員間で率直にアドバイスしあえる雰囲気作りに努め、お互いに力量を高めあう職員室にする。	B	【達成状況】全ての回答者で85%を超えた。特に教職員は98%で仕事上の協力体制や明るい職場環境が保たれた結果となった。学力向上に関する職員研修等でも活発な意見交換ができた。 【次年度の方針】自己教育力を高める学習指導や生徒指導で、職員の良さを高め合える校務分掌や職場環境の向上に努める。
	A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】肯定的回答80%	授業・日常生活の決まりやマナーの状況を細かい点も全職員で確認し、情報を周知するとともに休み時間等の巡視を行っていくことで目の届かない場所や時間を少なくしていく。	B	【達成状況】教職員が7ポイント、生徒が6ポイント上がり、肯定的評価が高まった。落ち着いた生活ぶりがうかがえる。 【次年度の方針】一層、授業や生活のきまり・マナーを高める指導に努めていくため、休み時間等の巡視の徹底を図る。
	A 4 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】肯定的回答80%	ICT活用や言語活動の充実等育てたい力を明確にし、教えて考える授業を実践する。また、学力向上アドバイザーの支援のもと全職員で生徒の学力向上を目指す。	B	【達成状況】保護者以外は肯定的回答が80%を越えている。特に教職員は98.2%と意識が高まっている。ホワイトボードを使った授業が増え、言語活動を意識した指導が定着してきた。また学力向上アドバイザーの指導のもと、全職員で学力向上への意識が高まった。 【次年度の方針】学習便りを中心に授業の様子を積極的に発信していく。また学力向上Pとして基礎学力が身につけていない生徒への対応を積極的にすすめる。小テストを利用し家庭学習の充実に努める。
	A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】肯定的回答80%	いじめに関する道徳の授業を全クラスで実施し、人権教育の観点から「言葉」の指導を日常的に行っていくなど、日頃からいじめにつながる言動に対し、敏感に対応していく。	B	【達成状況】生徒の肯定的回答は微増の89%と高いが、保護者の数値が56%と開きが大きい。 【次年度の方針】いじめの早期発見、早期対応のため、生徒の気になる言動や表情等に対して情報交換を密にするとともに、いじめを起こさない集団作りに力を入れる。
	A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】肯定的回答80%	教育課程の適切な実施に向け、校内外の行事を調整し、各種便りや通知で計画を明示する。授業交換を積極的に行い、授業時数の確保に努める。	B	【達成状況】教職員・保護者・地域住民で90%を大きく超え、生徒も87%と高評価であった。例年になく国際交流プログラムがあったが、授業実施時数も適正に確保できた。 【次年度の方針】今後も、学校の特色を生かした教育課程編成と授業時数確保に努める。
	A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】肯定的回答80%	学校からの各種便りを積極的に発行したり、ホームページの活用を充実させる。また、総合的な学習の時間で地域人材と連携した体験活動を実践し、地域の資源を活用する。	B	【達成状況】全ての回答者で95%を超える好評価を得た。オフンスクールや学校行事への保護者・地域住民の参加も多く、開かれた学校づくりが進んだ。 【次年度の方針】各種便りを一層工夫し、学校からの情報提供に努めていく。

	A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】肯定的回答 80%		地域協議会の事業や活動を P T A や保護者会等で報告し、ボランティア活動への理解と推進を図り、人材バンクを作成する。	B	【達成状況】生徒は 78%にとどまったが、他は 85%を超えた。3 年の総合的な学習の時間に地域の文化財保護団体を招いた体験活動を実施したほか、図書・校外持久走・花壇整備のボランティアなど、地域人材を活用した。 【次年度の方針】生徒のボランティア活動も含め、地域と連携した活動やその趣旨等について、丁寧に説明していく。
	A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】肯定的回答 80%		校内の環境美化のために、地域の教育力を活用し、生徒ともに美化活動を行う。清掃活動の充実を図る。	B	【達成状況】教師以外は 80%をクリアーしている。教材の管理や各教室の使い勝手が悪いことが原因と考えられる。 【次年度の方針】長期休業を利用しての職員作業を行い、各教科の備品管理を行うこと、各教室に配備されたホワイトボードやマーカーの場所を同じ位置にすること、「振り返りカード」を作成し各教室に準備することを目指す。
	B 1 教職員は、 <u>あいさつや対応が丁寧で誠実である。</u> 【数値指標】肯定的回答 80%		<u>誰に対しても気持ちのよいあいさつをする</u> とともに、相手の気持ちになって、誠実に接するよう努める。	B	【達成状況】生徒は 90%を超えた。特に地域住民は 17%増。生徒は 83%にとどまり、自由記述に教職員のあいさつや対応に関する指摘がいくつか見られた。 【次年度の方針】今後も、教職員の生徒・保護者・地域住民に関わっていく意識を高めていく。
	B 2 生徒・教職員は時間を守り時間を大切にしている。 【数値指標】肯定的回答 80%		朝の読書活動から日課時間を守り、チャイムとともに授業が進められるように職員・生徒ともに時間を守った行動ができるようにする。	B	【達成状況】すべての回答者で 85%を超え、高い評価であるが、部活動後の完全下校時刻など不十分な点もみられる。 【次年度の方針】授業や帰りの会の開始や、部活動の終了時刻等の順守を全職員で徹底していく。
	B 3 学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている。 【数値指標】肯定的回答 80%		指導力の向上を目指した研究プロジェクトに取り組み、全ての教科の校内授業研究会等を実施するとともに、校外研修を校内に生かし指導力の向上を図る。	B	【達成状況】保護者以外は 80%をクリアーしている。保護者への啓発が今後の課題となる。授業力向上 P を通して先生方の授業公開は充実した。学校長の指導を受けたりたくさんの授業を参観したりすることができた。 【次年度の方針】授業力向上 P は引き続き行っていくが、参観時間が多く負担があるという声が聞こえてきたため、3 グループを 4 グループにすることで参観時間を減らしスリム化を図っていく。
教育活動の状況	生徒活動	A 10 <u>生徒は、進んであいさつをしている。</u> 【数値指標】肯定的回答 80%	<u>あいさつ運動の推進を掲げる生徒会活動が活発になり、生徒同士がすすんであいさつが出来るように支援する。</u> 月ごとに生活委員会と共に全職員が通学路で「あいさつ運動」を行うとともに校内でも教員からすすんであいさつを行っていく。	B	【達成状況】すべての回答者で 85%を超える高い評価であった。特に地域住民の回答が昨年から 16 ポイントと大きく向上した。 【次年度の方針】あいさつの大切さを学級・学年・部活動を通して指導していくとともに、心のこもった丁寧なあいさつの励行を指導していく。
		A 11 <u>生徒は、正しい言葉づかいをしている。</u> 【数値指標】肯定的回答 80%	<u>時と場に応じた言葉遣いについて全職員が様々な場面で機を逃さず指導を行う。</u>	B	【達成状況】すべての肯定的回答が数値指標を上回り、時と場に応じた言葉遣いができていると思われる。 【次年度の方針】生徒間の日常的な言動にも注意を向け、不適切な言葉遣いを見逃さず指導していく。
		B 4 教職員は、一貫性・公平性のある生徒指導を基にして、生徒の規範意識を高めている。 【数値指標】肯定的回答 80%	積極的な生徒指導実践のため全校体制で指導にあたれるよう、生徒指導部会を中心に、一人ひとりの状況に配慮しながら段階的な粘り強い生徒指導を推進する。また、回覧する部会記録を通じ、生徒の共通理解を図る。	B	【達成状況】教職員、生徒ともに数値指標を上回る回答であったが、保護者の肯定的回答が 3.7 ポイント向上したものの、数値指標を下回った。 【次年度の方針】教職員の危機管理意識を高め、より組織的な対応を行っていく。生徒の規範意識向上に努めるとともに、失敗を素直に認め、前向きに反省する態度の育成に取り組んでいく。

健康・体力	A12 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 肯定的回答 80%	学校行事の練習だけでなく昼休みの運動など積極的な取り組みを支援する。冬場グラウンドコンディションが悪いときに昼休みの体育館開放で運動の機会を与える。	B 【達成状況】肯定的回答が比較的高い割合でありながらも、昨年よりは、運動する習慣不足とする見方が若干増加した。けがの報告も少なからずあった。 【次年度の方針】冬場の昼休みにおける体育館開放を次年度も継続し、運動する機会を与える。また、校庭の昼休みにおける使用方法にも、安全を考えた工夫をしたい。
	A13 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 肯定的回答 80%	家庭科・保健や学級活動の授業を通し食育のねらいとする食事の重要性、食文化、食品選択能力等の知識を身につけさせるとともに、日常の給食指導を通して配膳の工夫や食事マナー等を修得させるなど食育の推進を図る。 「給食献立表」や「食育だより」を配布し、バランスのとれた食生活の大切さを理解させる。	B 【達成状況】肯定的回答が教職員 62.5%、生徒 78.6%であった。教職員としては、給食残量等を見て、好き嫌いが多くとしたが、生徒たちは残量や好き嫌いは少ないと認識しているようだ。 【次年度の方針】教職員と生徒たちの食に関する意識のギャップをなくすように、日頃の意識を「食育だより」を通じて共通化したい。また、次年度も「お弁当の日」のメニュー計画等で、バランスの良い食を考えさせたい。
	B5 <u>授業や部活動などで一人一人が課題を持って体力の向上に取り組んでいる。</u> 【数値指標】 肯定的回答 80%	体力向上に向けた研究を行い、体育科を中心に、繰り返し継続して行う学校全体の体力向上計画を作り、年間を通して実施する。また、 <u>全校体制で、投力の育成や一人一人の課題解決策を教科保健体育の授業や部活動において促す。</u>	B 【達成状況】体力向上に関して、肯定的見方がかなり高い割合であるが、教職員のとらえ方が、生徒たちに比し、厳しい見方である。実際に体力向上に関しての意識に個人差があり、基礎体力の不足によるけがも多発した。 【次年度の方針】運動することの大切さを保健体育科の授業や部活動を通して、より啓発したい。また、けがの防止にも役立つ基礎体力の増強にも、全校体制で力を注ぎたい。
学習	A14 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答 80%	アクティブ・ラーニングの導入を積極的に行い、意欲的に学習に取り組める授業環境を整備する。	B 【達成状況】すべての項目で 80%を越えている。今年度はホワイトボードの設置を全学級に行いアクティブラーニングの導入を行った。話し合いや発表活動が授業に取り入れられることが増えた。 【次年度の方針】1 学級 8 枚から 9 枚のホワイトボード設置を行い、最大 4 人で 1 枚の環境を目指し準備する。また自主学習の定着が不十分な現状のため、学力向上 P において、ダイアリーの活用をおこなっていく。
	A15 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答 80%	学習の約束（チャイム前着席・始業時のあいさつ・学習態度・発表の仕方・ノートのまとめ方）など教科共通の学び方や教科特有の学び方を身につけさせる。	A 【達成状況】生徒以外は 80%以上を達成している。学級差が見られることは例年と同じだが、65%から 71%と向上のあとが見られる。 【次年度の方針】学習の約束を振り返る習慣や「学習の目標」の設定を学年委員会と連携して行うことで生徒に意識させる。また、生徒会の専門委員会に「学習委員会」を設ける案も出されている。「学習委員会」の設置に向けて、検討を行っていく。
	B6 学習の目的やねらいがわかり、自ら進んで考え発言している。 【数値指標】 肯定的回答 80%	学習のねらいや育てたい力を明確にして、指導と評価を一体化させた学習を展開する。	B 【達成状況】保護者以外は 80%以上を達成している。「学習の目標」カードを利用する機会も増え、教師や生徒には定着した。「振り返り」については、未だに定着が不十分である。 【次年度の方針】「学習の目標」カードの利用は行えているが、「振り返り」を行うため、「学習の目標」をより具体化させていく研修を授業公開などを利用し行っていく。また保護者への啓発は「学習便り」の発行や、授業参観を通して積極的に進めて理解を得ていく。

本校の特色・課題等	B 7 総合的な学習等において、自らの課題が設定され、地域をフィールドにした調査研究活動が行われている。 【数値指標】 肯定的回答 80%	地域をフィールドにした調査研究活動が意欲的に行われるよう、発達段階に応じた生徒の興味・関心に基づく適切な課題を設定させる。	B 【達成状況】教師・保護者が 80%を達成できなかった。地域を題材とした研究調査は行われているが、学校・学年の規模のためフィールドワークを授業時間内に行うことは難しかった。 【次年度の方針】長期休業を利用したフィールドワークの充実を図る。各学年の年間計画は「地域を題材としての調査活動」が充実しているため、教師・保護者の「総合的な学習」の行い方の啓発を「学年便り」「学習便り」で進めていく。
-----------	---	--	---

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

生徒たちは明るく、充実した生活を送っている。日常の授業や体育祭・学習発表会などの行事に主体的に取り組み、大きな成果を上げている。部活動では好成績を挙げている部が多い。あいさつや言葉遣いもほとんどの生徒が適切に行うことができる。本年度は昨年度に比べ肯定的割合が増えたものが多く、目標は達成されているものが多いと考える。指導・支援を継続し生徒の力を伸長させたい。

1 学校の運営状況について

- ・ A 1（活気がある）、A 2（熱心な指導）、A 3（マナーを守る）、A 6（教育課程）、A 7（情報提供）、B 1（教職員の対応）、B 2（時間）については全対象で肯定的な回答の割合が多く、数値目標が達成できており高い評価を得ている。
- ・ A 4（きめ細やかな指導）では教職員は肯定的評価が 1.9 ポイント上がったが、保護者が 5.3 ポイント、地域住民が 2.1 ポイント、生徒が 0.6 ポイント下がった。保護者が数値目標に達していない。教職員はさらに授業力の向上に努め、丁寧にわかりやすい授業やきめ細やかな指導を実践していきたい。
- ・ A 5（いじめ対策）は教員が 3.8 ポイント、保護者が 0.3 ポイント、生徒が 0.8 ポイント上がり、地域住民が 1.0 ポイント下がった。保護者が数値目標に達していない。いじめをなくす集会で学級ごとのスローガン発表などを行っているが、いじめ調査、いやな思い調査の実施と対応、道徳の授業での取り組みなどをさらに充実させるとともに、実践を周知していきたい。

2 教育活動の状況について

- ・ A 1 4（積極的な学習）、B 5（体力の向上）については全対象で数値目標を達成している。学習関係については、授業力向上プロジェクトや学力向上アドバイザー事業などに取り組んだ成果と考えられる。
- ・ A 1 3（給食を食べる）では教職員で 5.4 ポイント、保護者で 0.3 ポイント下がったが、生徒は 3.3 ポイント上がった。地域住民以外どの対象も数値目標を達成していない。家庭との連携を深め、生徒の食事への関心と食育をさらに充実させたい。
- ・ A 1 5（落ち着いた学習）は教職員で 7.6 ポイント、保護者で 2.3 ポイント上がり数値目標を大きく上回っている。生徒は 5.4 ポイント上がった。まだ数値目標は達成していないが課題はないと考える。

3 肯定的割合の低いものについて

- ・ 教職員は A 9（校内の整理整頓）70.9%，保護者は B 6（すすんで発言）69.9%である。すすんで発言については保護者以外数値目標を越えている。保護者の授業参観の機会を増やすなど授業の様子を保護者に広く知らせていきたい。

4 次年度への課題

- ・ 保護者や地域への情報の提供にさらに努め、各種の広報活動を充実させていきたい。
- ・ 対象の 3 つ以上で数値目標を達成していない項目などを中心に、教職員一丸となり取り組み、教育活動の充実と生徒の力を高めていきたい。

6 学校関係者評価

- ・ 学校は良くやっていると思う。表にはなかなか出ない、いじめなどに対応していくのは大変だがよろしく願いたい。
- ・ 細かなところまで熱心に取り組んでおり、地域の団体としてこれからも、学校に協力して色々手伝ってきたい。
- ・ 家庭が課題の要因となっているものもある。これからは家庭の教育力の向上、保護者への教育も大切となっている。
- ・ 市全体でも小学校でもいじめ対策の公表、取り組みへの肯定的評価が低いがそれへの関心は高い。しかし、いじめやあいさつ、規範意識の向上など、学校だけに任せるのではなく地域全体で、絆・思いやりを高め共有してしっかり取り組んでいくことがよい。

【A5 いじめ対策について】

- ・いじめ対策の公表と熱心な取り組みについては、保護者の肯定的評価が低い。学校ではしっかり対応しているが低い数値である。色々工夫してもなかなか保護者の理解を得られない状況がみられる。

【A10 時と場に応じたあいさつ】

- ・しっかりあいさつができています。この状態が続くように指導を継続してほしい。

【A13 給食を食べるについて】

- ・好き嫌い無く給食を食べることについて、教職員が低く、生徒はそれに比べ15ポイント以上高いがその差が気になる。
- ・教職員からみて残量が多そうであるが、今は生徒に食格差が大きくなっていて、炭水化物で満腹になる生徒もいるとも聞く。生徒の体作りに関して、しっかりと知識を持たせるためにも、食育をさらに充実させて多面的に目標に近づけさせて、元気な生徒を育成してほしい。

【A15 落ち着いた学習について】

- ・生徒の肯定的評価が5.4ポイント増えているのはとても素晴らしいことである。主役は生徒であるのでこれからも続けてほしい。

【B1 教職員のあいさつ・対応について】

- ・地域住民からの肯定的評価が17ポイント上がっている。この肯定的評価の増加は素晴らしい。

【B4 規範意識を高める】

- ・職員の肯定的評価が11.3ポイント向上しており、職員は自信あふれる指導をしているということでありとても良い状況である。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

28年度の学校運営状況、教育活動状況ともそれぞれ取り組みについては適切であるとの評価を受け、次年度も継続していきたい。その中で、「A15 落ち着いた学習」については次年度に向けてさらに拡充して取り組んでいきたい。また、高い評価を受けたものはさらに進め、改善の指摘や充実の必要性を受けた点は検討し、29年度の経営に生かしていきたい。

- 1 特色ある学校づくりの中の「学力向上プロジェクト」での授業の工夫などにより肯定的な評価も受けているので、改善を続け学力の向上にさらに努めたい。
- 2 A5のいじめ対策では、今年度も保護者の肯定的評価が低い状況がある。学校で取り組んでいるいじめ対策の集会や学級のスローガンの保護者への周知にさらに取り組んでいきたい。
- 3 A13の給食を食べるについては、好き嫌いによる残量が多い状況があり、大きく体が成長する時期の食事の大切さの自覚を深めさせるため、食育をさらに充実させたい。
- 4 B4の規範意識については、一貫性・公平性のある職員の自信を持った指導を充実させ、授業や生活のきまりやマナーなどを中心に規範意識を高めさせたい。
- 5 B7の地域をフィールドにした調査研究活動については、肯定的評価が教職員・保護者・地住民・生徒の全てで減少した。

総合的な学習の時間における学習で、実施時期などを考慮しつつ保護者への啓発を進めると共に、地域の団体などの協力も視野に入れて取り組んでいきたい。